



## **Cisco UCS Integration Pack Suite インストールおよび構成ガイド、リリース 1.1**

Microsoft System Center 2012 向け、Configuration Manager  
2016 年 3 月

**Cisco Systems, Inc.**

[www.cisco.com](http://www.cisco.com)

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。  
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は  
当社の Web サイトをご覧ください  
([www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices)) をご覧ください。

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco UCS Integration Pack Suite インストールおよび構成ガイド、リリース 1.1  
© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## はじめに

---

この前書きは、次の項で構成されています。

- このドキュメントについて、iii ページ
- 対象読者、iii ページ
- 表記法、iv ページ
- Cisco UCS コミュニティ、v ページ
- Cisco UCS の関連ドキュメント、v ページ
- マニュアルに関するフィードバック、v ページ
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート、vi ページ

## このドキュメントについて

このドキュメントでは、Cisco UCS Integration Pack Suite の特徴と機能について説明しています。また、Cisco UCS Integration Pack Suite の通常のインストールおよび使用方法も説明しています。このドキュメントには、次の内容は含まれていません。

- Cisco UCS Integration Pack Suite を使用できるすべてのケースまたはすべての方法。
- System Center Configuration Manager、そのインストール、または特徴と機能に関する情報。System Center Configuration Manager の詳細については、[technet.microsoft.com](http://technet.microsoft.com) の Microsoft TechNet サイトを参照してください。

## 対象読者

このガイドは、次の 1 つ以上に責任を持つ、専門知識を備えたデータセンター管理者を主な対象にしています。

- サーバ管理
- ストレージ管理
- ネットワーク管理
- ネットワーク セキュリティ

# 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

| 表記法          | 説明  |
|--------------|---|
| 太字           | コマンド、キーワード、およびユーザが入力するテキストは <b>太字</b> で記載されます。  |
| イタリック体       | 文書のタイトル、新規用語、強調する用語、およびユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。                            |
| [ ]          | 角カッコの中の要素は、省略可能です。  |
| {x y z}      | 必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。                                     |
| [x y z]      | いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。  |
| string       | 引用符を付けない一組の文字。 <b>string</b> の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて <b>string</b> とみなされます。 |
| courier フォント | システムが表示する端末セッションおよび情報は、 <i>courier</i> フォントで示しています。                                     |
| < >          | パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。  |
| [ ]          | システムプロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。  |
| !、#          | コードの先頭に感嘆符(!)またはポンド記号(#)がある場合には、コメント行であることを示します。  |



(注)

「注釈」です。役立つ情報やこのマニュアルに記載されていない参照資料を紹介しています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ワンポイントアドバイス

「時間の節約に役立つ操作」です。記述されている操作を実行すると時間を節約できます。



警告

## IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device.

SAVE THESE INSTRUCTIONS

## Cisco UCS コミュニティ

[Cisco UCS コミュニティ](#)は Cisco UCS 製品およびテクノロジーについての議論、情報共有、学習のためのプラットフォームです。パートナー エコシステムとの UCS 統合に関連するブログ、ディスカッション フォーラムおよび文書については、<https://communities.cisco.com/ucsintegrations> を参照してください。

## Cisco UCS の関連ドキュメント

### ドキュメント ロードマップ

すべての B シリーズ マニュアルの完全なリストについては、[Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap](#) で入手可能な『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

すべての C シリーズ マニュアルの完全なリストについては、[Cisco UCS C-Series and Cisco C880 Series Documentation Roadmap](#) で入手可能な『*Cisco IMC Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

すべての E シリーズ マニュアルの完全なリストについては、[Documentation Guide for Cisco UCS E-Series Servers](#) で入手可能な『*Cisco IMC Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

### その他のマニュアル リソース

すべての B および C シリーズのマニュアルを含む ISO ファイルは、次の URL で入手可能です。<http://www.cisco.com/cisco/software/type.html?mdfid=283853163&flowid=25821> このページで、[Unified Computing System (UCS) Documentation Roadmap Bundle] をクリックします。

ISO ファイルは、ドキュメントのメジャー リリースの後に更新されます。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、[Cisco UCS Docs on Twitter](#) をフォローしてください。

## マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバック フォームよりご連絡ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

# マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。  
<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。



|   |     |
|---|-----|
| <b>はじめに</b>                                     | iii |
| このドキュメントについて                                    | iii |
| 対象読者  | iii |
| 表記法   | iv  |
| Cisco UCS コミュニティ                                | v   |
| Cisco UCS の関連ドキュメント                             | v   |
| マニュアルに関するフィードバック                                | v   |
| マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート                         | vi  |
| <b>概要</b>                                       | 1-1 |
| Cisco UCS Integration Pack Suite について           | 1-1 |
| システム要件  | 1-1 |
| ソフトウェア要件  | 1-2 |
| サポートされているオペレーティング システムとバージョン                    | 1-2 |
| サポートされているハードウェア プラットフォーム                        | 1-2 |
| UCS Manager のリリース                               | 1-3 |
| Cisco IMC のリリース                                 | 1-3 |
| Cisco ドライバパッケージのサポート マトリックス                     | 1-3 |
| インストール要件  | 1-4 |
| <b>Cisco UCS Integration Pack Suite のインストール</b> | 2-1 |
| Cisco UCS Integration Pack Suite のインストール        | 2-1 |
| Cisco UCS Integration Pack Suite のインストールの変更と修復  | 2-2 |
| Cisco UCS Integration Pack Suite のアンインストール      | 2-2 |
| <b>ドライバ管理とタスク シーケンス</b>                         | 3-1 |
| ドライバパッケージのインポート                                 | 3-1 |
| タスク シーケンスの作成および編集                               | 3-4 |
| カスタム タスク シーケンスの作成                               | 3-4 |
| タスク シーケンスの編集                                    | 3-5 |







## 概要

---

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS Integration Pack Suite について\(1-1 ページ\)](#)
- [ソフトウェア要件\(1-2 ページ\)](#)

## Cisco UCS Integration Pack Suite について

Cisco UCS Integration Pack Suite、リリース 1.1.1 は、Cisco UCS Manager Integration Pack、および Cisco IMC Integration Pack を含むユニファイド インストーラです。プラグインとして統合パックが System Center 2012 Configuration Manager にインストールされています。これは、Cisco UCS B、C、および E シリーズ サーバのハードウェアプロビジョニング、オペレーティング システムの導入プロセスなど、サーバ管理タスクの簡素化に役立ちます。

## システム要件

Cisco UCS Integration Pack Suite をインストールする前に、システムが次の最小要件を満たしているか、または超えていることを確認します。

- [ソフトウェア要件\(1-2 ページ\)](#)
- [サポートされているオペレーティング システムとバージョン\(1-2 ページ\)](#)
- [サポートされているハードウェア プラットフォーム\(1-2 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager Integration Pack\(1-2 ページ\)](#)
- [Cisco IMC Integration Pack\(1-2 ページ\)](#)
- [Cisco ドライバ パッケージのサポート マトリックス\(1-3 ページ\)](#)
- [インストール要件\(1-4 ページ\)](#)

## ソフトウェア要件

- .NET Framework 4.5 以降
- Java バージョン 1.6 Update 45 以降
- 次のバージョンの System Center 2012 Configuration Manager プライマリ サイト または管理コンソールのインストール:
  - System Center 2012 Configuration Manager
  - System Center 2012 Configuration Manager SP1
  - System Center 2012 R2 Configuration Manager
  - System Center 2012 R2 SP1 Configuration Manager
  - System Center 2012 Configuration Manager SP2

## サポートされているオペレーティングシステムとバージョン

Cisco UCS Integration Pack Suite は、次のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2012 R2 (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2012 (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット)

## サポートされているハードウェアプラットフォーム

### Cisco UCS Manager Integration Pack

サポートされている UCS Manager B シリーズおよび C シリーズのプラットフォームは、実行中の UCS Manager のバージョンによって異なります。UCS Manager コンポーネントでサポートされているハードウェアおよびソフトウェアの詳細については、『**Hardware and Software Interoperability for UCSM Managed Servers**』を参照してください。

### Cisco IMC Integration Pack

Cisco IMC Integration Pack は、次のハードウェアプラットフォームでサポートされています。

### サポートされる C シリーズ サーバ

- Cisco UCS C220 M4 サーバ
- Cisco UCS C240 M4 サーバ
- Cisco UCS C460 M4 サーバ
- Cisco UCS C22 M3 サーバ
- Cisco UCS C24 M3 サーバ
- Cisco UCS C220 M3 シリーズ サーバ
- Cisco UCS C240 M3 シリーズ サーバ
- Cisco UCS C260 M2 サーバ
- Cisco UCS C420 M3 サーバ
- Cisco UCS C460 M2 サーバ

## サポートされる E シリーズ サーバ

- Cisco UCS E160D-M1/K9
- Cisco UCS E160DP-M1/K9
- Cisco UCS E140D-M1/K9
- Cisco UCS E140S-M1/K9

## UCS Manager のリリース

Cisco UCS Manager Integration Pack は、UCS Manager の次のリリースでサポートされています。

- Release 2.1
- Release 2.2

## Cisco IMC のリリース

Cisco IMC Integration Pack は、C シリーズ サーバの場合は Cisco Integrated Management Controller (IMC) バージョン 1.5(2) 以降、E シリーズ サーバの場合はバージョン 2.3(x) 以降と互換性があります。

Cisco IMC 1.5(1) では、次の機能がサポートされています。

- シスコ サーバのインポート
- ドライバパッケージのインポート
- RAID 設定
- OS の導入



(注) Cisco UCS C シリーズ サーバの BIOS 設定にはバージョン 1.5(4) 以上の Cisco IMC が必要です。

## Cisco ドライバパッケージのサポート マトリックス

次の表に、統合パックに対する Cisco UCS ドライバ Zip のサポート マトリックスの詳細が示されています。

|                                    | Windows Server 2008 R2 | Windows Server 2012 | Windows Server 2012 R2 |
|------------------------------------|------------------------|---------------------|------------------------|
| Cisco UCS Manager Integration Pack | 1.5(4) 以降              | 1.5(4) 以降           | 1.5(4) 以降              |
| Cisco UCS Integration Pack         | 1.5(3) 以降              | 1.5(3) 以降           | 1.5(4) 以降              |



(注) Cisco UCS C シリーズおよび B シリーズ M4 サーバでは、サポートされているすべてのオペレーティングシステムに対し、2.0(3) 以降のバージョンのドライバ zip がサポートされています。



---

(注) Cisco UCS E シリーズ サーバでは、Windows Server 2008 R2 を導入するためにサポートされているドライバパッケージのバージョンは 2.0(1a) です。

---

## インストール要件



---

(注) Cisco UCS Manager Integration Pack、Cisco IMC Integration Pack の以前のバージョンからのアップグレードはサポートされていません。Cisco UCS Integration Pack Suite をインストールする前に、統合パックの以前のバージョンをすべてアンインストールしてください。

---

ユーザアカウント制御(UAC)が有効なシステムで Cisco UCS Integration Pack Suite をインストールまたはアンインストールするには、[Run as Administrator] を使用してコマンドプロンプトを開き、MSI があるディレクトリに移動してインストーラを起動します。



## Cisco UCS Integration Pack Suite のインストール

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS Integration Pack Suite のインストール\(2-1 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Integration Pack Suite のインストールの変更と修復\(2-2 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Integration Pack Suite のアンインストール\(2-2 ページ\)](#)

### Cisco UCS Integration Pack Suite のインストール

**ステップ 1** [cisco.com](#) から **Cisco UCS Integration Pack Suite** をダウンロードします。

**ステップ 2** インストーラをダブルクリックして、**Cisco UCS Integration Pack Suite** 設定ファイルを起動します。



**(注)** **Configuration Manager Console** が開いている場合にインストーラを起動すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。「*Installation/Uninstallation of product is not possible when the Configuration Manager administrator console is open, Do you want to close the console and continue?*」。コンソールを閉じてインストールを続行するには、[Yes] をクリックします。

**ステップ 3** [Setup Wizard] 画面で、[Next] をクリックします。

**ステップ 4** [License Agreement] 画面で次の手順を実行します。

- a. エンド ユーザ ライセンス契約書を確認します。
- b. [I accept the terms in the License Agreement] オプション ボタンをクリックします。
- c. [Next] をクリックします。

**ステップ 5** [Setup Type] をクリックします。

次のいずれかになります。

- **Complete:** UCS Manager、および Cisco IMC Integration Packs がインストールされます。
- **Custom:** 必要な統合パックだけをインストールできます。

**ステップ 6** [Next] をクリックします。

- ステップ 7** カスタム インストールを行う場合は、次の手順を実行します。
- インストールが不要な統合パックを選択します。
  - ドロップダウンリストから、[This feature will not be available] をクリックします。
- Cisco UCS Integration Pack Suite** が正常にインストールされると、[InstallShield Wizard Completed] 画面が表示されます。
- ステップ 8** [Finish] ボタンをクリックして終了します。

## Cisco UCS Integration Pack Suite のインストールの変更と修復

- ステップ 1** [Start] > [Control Panel] > [Programs and Features] の順に移動します。
- ステップ 2** インストールしたプログラムのリストから、[Cisco UCS Integration Pack Suite] を選択します。
- ステップ 3** [Change] をクリックします。
- [Cisco UCS Integration Pack Suite - Installation Wizard] が開きます。
- ステップ 4** [Next] をクリックします。
- [Cisco UCS Integration Pack Suite - Installation Wizard] が開きます。
- [Next] をクリックします。  
カスタム設定ページが表示されます。
  - 既存のインストールに追加、または削除したい統合パックを選択し、ドロップダウンリストから対応するオプションを選択します。
- ステップ 5** インストールを修復するには、[Repair] > [Next] の順に選択します。
- ステップ 6** [Install] をクリックします。
- ステップ 7** [Finish] をクリックします。

## Cisco UCS Integration Pack Suite のアンインストール

- ステップ 1** (オプション) Configuration Manager アプリケーションが動作していないことを確認します。動作している場合は、プログラムを閉じます。
- ステップ 2** [Start] > [Control Panel] > [Program and Features] を選択します。[Program and Features] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** プログラムの一覧から **Cisco UCS Integration Pack Suite** を選択し、[Uninstall] をクリックします。



- (注) **Configuration Manager Console** が開いている場合にインストーラを起動すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。「*Installation/Uninstallation of product is not possible when the Configuration Manager administrator console is open, Do you want to close the console and continue?*」。コンソールを閉じてアンインストールを続行するには、[Yes] をクリックします。

**Cisco UCS Integration Pack Suite** がアンインストールされます。



## ドライバ管理とタスク シーケンス

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [ドライバパッケージのインポート \(3-1 ページ\)](#)
- [タスク シーケンスの作成および編集 \(3-4 ページ\)](#)

### ドライバパッケージのインポート

[Cisco UCS Driver Package] ウィザードを使用して、Cisco IMC および UCS Manager 用のドライバの zip パッケージを Cisco.com またはローカルファイルシステムからインポートできます。ドライバカタログは [Software Library] ワークスペースにあり、次の 2 つのノードで構成されています。

- **Drivers:** [Drivers] カタログには、インポートしたすべてのドライバが一覧表示されます。各ドライバの詳細を表示して、ドライバがどのドライバパッケージまたはブート イメージに含まれているのかを確認できます。また、ドライバなどを有効または無効にすることもできます。
- **Driver Packages:** [Driver Packages] カタログには、作成したすべてのドライバ パッケージが一覧表示されます。これらのパッケージは、ドライバを [Drivers] カタログにインポートしたときに作成できます。または、[Driver Packages] カタログで直接作成することもできます。

次の表に、サーバ モデルとオペレーティング システムのバージョンに基づいた、zip サポート マトリックスの詳細を示します。

|                            | Windows Server 2008 R2 | Windows Server 2012 | Windows Server 2012 R2 |
|----------------------------|------------------------|---------------------|------------------------|
| Cisco UCS C シリーズ サーバ       | 1.5(3) 以上              | 1.5(3) 以上           | 1.5(4) 以上              |
| Cisco UCS E-Series Servers | 2.0(1a)                | 1.5(3) 以上           | 1.5(4) 以上              |



(注)

Cisco UCS C シリーズ M4 サーバでは、サポートされているすべてのオペレーティング システムに対し、2.0(3) 以降のバージョンのドライバ zip がサポートされています。

#### ステップ 1

[Start] > [All Programs] > [Microsoft System Center] > [Configuration Manager] > [Configuration Manager Console] の順に選択します。

**Configuration Manager Console**の画面が表示されます。

**ステップ 2** コンソールの左ペインで、[Software Library] > [Overview] > [Operating Systems] > [Driver Packages] カタログの順に選択します。

**ステップ 3** [Driver Packages] カタログを右クリックして、[Cisco UCS Configuration] > [Create Cisco UCS Driver Package] の順に選択します。

[Create Cisco UCS Server Driver Package] ウィザードが表示されます。



(注) 上部のリボンバーから [Create Cisco UCS Driver Package] オプションを選択することもできます。

**ステップ 4** [Get Drivers] タブで、次のいずれかの方法でドライバをインポートできます。

[Download driver zip from Cisco.com] を使用してドライバ パッケージをインポートするには、次の手順を実行します。

- [Browse] をクリックし、ドライバをダウンロードする必要がある場所に移動して、[OK] をクリックします。
- [Select OS] ドロップダウンリストから、ドライバ パッケージに応じたオペレーティング システムを選択します。
- [Download Details] をクリックし、Cisco.com のクレデンシアルを入力し、対応するフィールドにプロキシ サーバの詳細を入力します。
- [OK] をクリックします。



(注) 入力したクレデンシアルが有効である場合は、ダウンロード可能なドライバのバージョンがすべて UI に表示されます。有効でない場合は、次のエラーメッセージが表示されます。「Failed to get the download details from cisco.com.」

- ドロップダウンリストから、ドライバのバージョンを選択します。

[Select driver zip file from local share] を使用してドライバ パッケージをインポートするには、[Browse] をクリックし、更新されたドライバを含む zip ファイルに移動し、[Open] をクリックします。



(注) [Select driver zip file from local share] オプションを使用してドライバ パッケージをインポートするには、Cisco.com からドライバ パッケージをダウンロードします。

Cisco.com からドライバをダウンロードするには、[Support] > [Downloads] > [Products] > [Server-Unified Computing] の順にクリックします。リストからダウンロードするドライバを選択し、[Download] ボタンをクリックします。

**ステップ 5** [Next] をクリックします。

**ステップ 6** [Save Drivers] で、ドライバの zip ファイルおよびドライバ パッケージをダウンロードする場所を指定します。

- a. ファイルを保存するには、[Destination for Driver Zip] ボックスの手前の [Browse] をクリックし、ドライバの zip ファイルを保存する場所に移動します。  
各パッケージの一意の名前を入力します。
- b. ドライバ パッケージ フォルダを保存するには、[Destination for Driver Package] の手前の [Browse] をクリックし、ドライバ パッケージ フォルダを保存するネットワーク共有ドライブの場所に移動します。





(注) ドライバの zip ファイルとドライバパッケージフォルダの場所は同じにする必要があります。



注意 ネットワーク共有のドライバソースファイルは変更しないでください。

**ステップ 7** [Next] をクリックします。

**ステップ 8** [Select Boot Images] で、ドライバを適用するブート イメージを選択します。  
すべてのブート イメージを選択するには、[Select All] チェック ボックスをオンにします。



(注) Windows 2008 R2 用のドライバを Configuration Manager 2012 SP1 に、および Windows 2008 R2 と Windows 2012 用のドライバを Configuration Manager 2012 R2 にインポートするときには、[Select Boot Images] 画面にブート イメージが一覧表示されません。これは予定された動作です。

**ステップ 9** Configuration Manager コンソールで分散ポイントのブート イメージを更新するには、[Update distribution point] を選択します。

**ステップ 10** [Import Drivers] をクリックします。

**ステップ 11** [Download Credentials] をクリックします。



(注) 経過表示バーが更新されていない場合は、ドライバのインポートを含むタスクの完了に時間がかかる可能性があります。

**ステップ 12** インポートのステータスは、[Summary of Driver Import Wizard] に表示されます。

**ステップ 13** [Close] をクリックし、次に [Exit] をクリックして、Configuration Manager Consoleに戻ります。

**ステップ 14** ドライバのインポート操作が正常に完了したことを確認するには、[Software Library] > [Overview] > [Operating Systems] > [Drivers] カタログの順に選択します。

ドライバリストが更新され、コンテンツ ペインの [Name] 列に表示されます。

**ステップ 15** ドライバパッケージのインポート操作が正常に完了したことを確認するには、[Software Library] > [Overview] > [Operating Systems] > [Driver Packages] カタログの順に選択します。

ドライバパッケージリストが更新され、コンテンツ ペインの [Name] 列に表示されます。



(注) ドライバがインポートされ、ドライバパッケージの操作が正常に完了すると、新しいドライバとともに、対応するブート イメージも更新されます。

ブート イメージの更新されたドライバを表示するには、次の手順を実行します。

- a. [Software Library] > [Overview] > [Operating Systems] > [Boot Images] カタログの順に選択します。
- b. 更新されたドライバを表示するブート イメージを選択します。
- c. そのブート イメージを右クリックして、[Properties] をクリックします。  
[Boot Image Properties] ダイアログボックスが表示されます。
- d. [Drivers] タブをクリックして、更新されたドライバのリストを表示します。  
ドライバパッケージは [Task Sequence] で使用できます。

## タスクシーケンスの作成および編集


オペレーティングシステムの導入をサポートするために、タスクシーケンスを作成します。次のタスクシーケンス手順をタスクシーケンスに追加または編集します。カスタムタスクシーケンスの作成時、または既存のタスクシーケンスの編集時に追加または編集できます。これにより、オペレーティングシステムの導入をサポートします。

- ディスクのフォーマットとパーティショニング
- オペレーティングシステムイメージの適用
- ネットワーク設定の適用
- Windows 設定の適用
- ドライバパッケージの適用
- Windows と ConfigMgr のセットアップ

## カスタムタスクシーケンスの作成

- 
- ステップ 1** **Configuration Manager** コンソールの左ペインから、[Software Library] > [Overview] > [Operating Systems] > [Task Sequence] カタログを選択します。
- ステップ 2** [Task Sequence] カタログを右クリックし、[Create Task Sequence] を選択します。  
[Create Task Sequence Wizard] が表示されます。
- ステップ 3** [Create Task Sequence Wizard] で、[Create a new custom task sequence] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 4** [Specify task Sequence information] で、次のフィールドに入力します。
- **Task sequence name:** タスクシーケンスの名前を入力します。
  - **Description:** タスクシーケンスの簡単な説明を入力します。
  - **Boot image:** [Browse] をクリックし、[Select a Boot Image] 画面からブートイメージを選択して [OK] をクリックします。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** [Summary] で設定を確認し、[Next] をクリックします。  
設定を変更するには、[Previous] をクリックします。
- ステップ 7** タスクシーケンスを作成したら、[Close] をクリックして [Create Task Sequence] ウィザードを終了します。  
コンテンツ ペインの [Name] 列でタスクシーケンスを確認できます。
-

## タスク シーケンスの編集

- ステップ 1** **Configuration Manager Console**の左ペインで、[Software Library] > [Overview] > [Operating Systems] > [Task Sequences] カタログを選択します。  
コンテンツ ペインにタスク シーケンスが一覧表示されます。
- ステップ 2** タスク シーケンスを右クリックして、[Edit] を選択します。  
[Task Sequence Editor] ページが表示されます。
- ステップ 3** ドロップダウンリストから、[Add] > [Disks] > [Format and Partition Disk] の順に選択します。  
[Format and Partition Disk] 項目に、赤い X のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 4** [Properties] タブで、次のフィールドに入力します。
- **Name:** 実行するタスクの名前を入力します。
  - **Description:** 実行するタスクの簡単な説明を入力します。
  - **Volume:** 新しいパーティションを作成します。  
新しいパーティションを作成するには、次の手順を実行してください。
    - a. [Volume] 領域で、 アイコンをクリックします。  
[Partition Properties] ページが表示されます。
    - b. パーティションの名前を入力し、[Make this the boot partition] チェック ボックスをオンにします。
    - c. [Quick format] チェック ボックスをオンにします。
  - **Variable:** 論理ドライブの環境変数の名前を入力します。たとえば、OSDRIVE などです。
- ステップ 5** [OK] をクリックします。  
[Format and Partition Disk] タスク シーケンスに、緑色のチェック マークのフラグが付きます。
- ステップ 6** [タスク シーケンス エディタ] のドロップダウンリストから、[Add] > [Images] > [Apply Operating System Image] の順に選択します。  
[Apply Operating System Image] 項目に、赤い X のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 7** [タスク シーケンス エディタ] の左ペインで、赤い X のチェックマークのフラグが付いた [Apply Operating System Image] をクリックします。
- ステップ 8** [Properties] タブで、次のフィールドに入力します。
- **Name:** 実行するタスクの名前を入力します。
  - **Description:** 実行するタスクの簡単な説明を入力します。
  - **Apply operating system from a captured image:** [Browse] をクリックして、[Select an Operating System Image] ダイアログボックスを開きます。インストールする既存のイメージ パッケージを選択します。  
指定した [イメージ パッケージ] に複数のイメージが関連付けられている場合は、ドロップダウンリストを使用して、この導入に使用する関連付けられたイメージを指定します。
  - **[Destination]** ドロップダウンリストから [Logical drive letter stores in a variable] を選択し、「ディスクのフォーマットとパーティショニング」の手順で作成した変数名を入力します。たとえば、OSDRIVE などです。



(注) **Configuration Manager** へのオペレーティング システム イメージのインポートについては、Technet のドキュメントを参照してください。

- ステップ 9** [OK] をクリックします。  
[Apply Operating System Image] タスク シーケンスに、緑色のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 10** [タスク シーケンス エディタ] のドロップダウンリストから、[Add] > [Settings] > [Apply Network Settings] の順に選択します。  
[Apply Network Settings] 項目に、赤い X のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 11** 赤い X のチェックマークのフラグが付いた [Apply Network Settings] をクリックします。
- ステップ 12** [Properties] タブで、次のフィールドに入力します。
- **Name:** 実行するタスクの名前を入力します。
  - **Description:** 実行するタスクの簡単な説明を入力します。
  - **Join a workgroup:** 宛先のコンピュータを指定したワークグループに参加させるには、このオプションを選択します。[Workgroup] フィールドに名前を入力します。この値は、[Capture Network Settings] タスク シーケンス手順で入力した値に優先します。
  - **Join a domain:** 宛先のコンピュータを指定したドメインに参加させるには、このオプションを選択します。
  - **Account:** 必要な権限を持つアカウントを指定して、ドメインにコンピュータを参加させるには、[Set] をクリックします。
  - **Adapter settings:** コンピュータで各ネットワーク アダプタのネットワーク設定を指定します。[New] をクリックして [Network Settings] ダイアログボックスを開き、ネットワーク設定を指定します。
- ステップ 13** [OK] をクリックします。  
[Apply Network Settings] タスク シーケンスに緑色のチェック マークのフラグが付きます。
- ステップ 14** タスク シーケンス エディタの左ペインで、[Add] > [Settings] > [Apply Windows Settings] を選択します。  
[Apply Windows Settings] 項目に、赤い X のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 15** [Task Sequence Editor] の左ペインで、赤い X のチェックマークのフラグが付いた [Apply Windows Settings] をクリックします。
- ステップ 16** [Task Sequence Editor] の右ペインで、[Properties] の下に次の情報を入力します。
- **Name:** この手順で実行するアクションを示す短いユーザ定義名を入力します。
  - **Description:** この手順で行うアクションに関する詳細情報を入力します。
  - **User name:** 宛先のコンピュータに関連付けられた登録ユーザ名を指定します。
  - **Organization name:** 宛先のコンピュータに関連付けられる登録された組織名を指定します。
  - **Product key:** 宛先のコンピュータで Windows のインストールに使用されるプロダクト キーを指定します。
  - [Enable the account and specify the local administrator password] オプション ボタンをオンにします。ローカル管理者パスワードでログインするために別のアカウントを使用できます。
  - **Time Zone:** 宛先のコンピュータで設定するタイム ゾーンを指定します。

- ステップ 17** [OK] をクリックします。  
[Apply Windows Settings] タスク シーケンスに、緑色のチェック マークのフラグが付きます。
- ステップ 18** タスク シーケンス エディタの左ペインで、[Add] > [Drivers] > [Apply Driver Package] を選択します。  
[Apply Driver Package] 項目に、赤い X のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 19** [タスク シーケンス エディタ]の左ペインで、赤い X のチェックマークのフラグが付いた [Apply Driver Package] をクリックします。
- ステップ 20** [タスク シーケンス エディタ] の右ペインの [Properties] で、[Driver Package] ボックスの隣にある [Browse] をクリックします。[Create UCS C-Series Driver Package] ウィザードを使用して作成したドライバパッケージを選択します。
- ステップ 21** [OK] をクリックします。  
[Apply Driver Package] タスク シーケンスに緑色のチェック マークのフラグが付きます。
-  (注) パッケージには、オペレーティング システムの導入時に使用できるすべてのドライバが含まれています。
- 
- ステップ 22** タスク シーケンス エディタ左ペインで、[Add] > [Images] > [Setup Windows and ConfigMgr] を選択します。  
[Setup Windows and ConfigMgr] 項目に、赤い X のチェックマークのフラグが付きます。
- ステップ 23** [タスク シーケンス エディタ] の左ペインで、赤い X のチェックマークのフラグが付いた [Setup Windows and ConfigMgr] をクリックします。
- ステップ 24** タスク シーケンス エディタの右ペインの [Properties] の下で、[Package] ボックスの横にある [Browse] をクリックします。  
[Select the Deployment Package] ページが表示されます。
- ステップ 25** [Select a Deployment Package] ページの [Deployment packages] の下で、必要な導入パッケージを選択します。
-  (注) 導入パッケージを作成するための詳細については、**Microsoft Technet** のドキュメントを参照してください。
- 
- ステップ 26** [OK] をクリックします。  
[Setup Windows and ConfigMgr] タスク シーケンスに、緑色のチェック マークのフラグが付きます。
- ステップ 27** [Apply] をクリックします。

